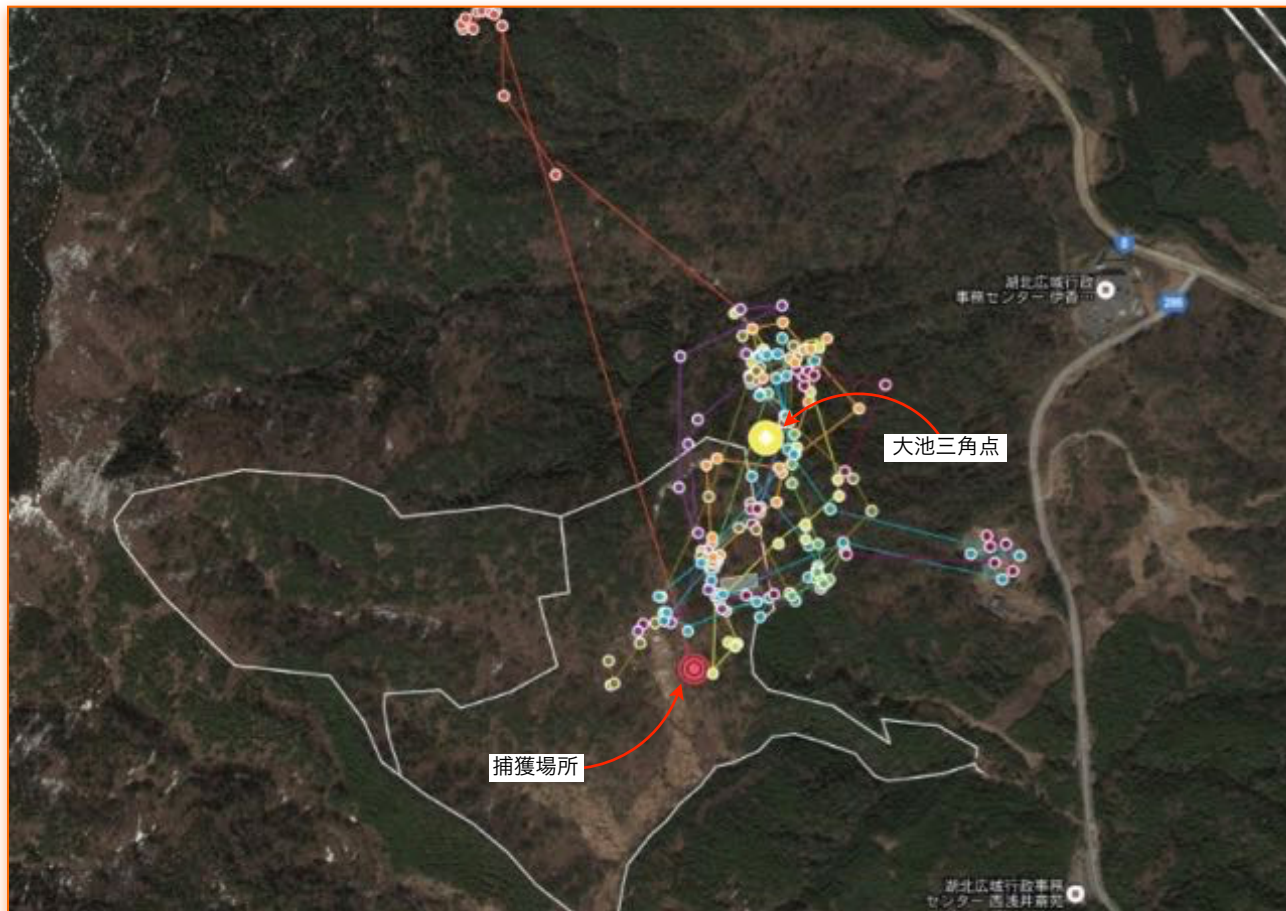


Yamakado News Letter



意外と狭い？ シカの行動範囲



GPSデータをGoogleマップ上に反映させた画像

10月20日、生体捕獲してGPS首輪を装着したシカから遠隔操作でGPSデータ（5日分のシカの位置情報）を取り出しました。取り出したGPSデータを地図上に示したのが上の画像です。放獣当日の行動は赤い点と線で表示しています。シカは放獣直後に北北西約1kmの深坂古道手前まで移動し、終日そこで過ごしていました。しかし、翌日からは湿原近くに戻ってきて500m程の行動圏で活動しているようです。昼間は県有林の外側に滞在し、夜間は湿原側に滞在する傾向がみられます。この親子ジカは捕獲直後に離れ離れになってしまい、その後の状況がわかりませんでした。捕獲場所にセンサービデオを設置したままにしてありますが、捕獲から25日ぶりにカメラ前に揃って現れました。

今後1ヶ月に1回程度のペースでGPSデータの取り出しを行います。次回は11月19日の糞粒調査時に一般参加者の方と一緒に追跡調査をする予定です。



11月10日18時 親子でいるところを確認

山門水源の森2050バスツアー

11月12日、15周年記念事業の締めくくりとなるバスツアーを開催。32名の参加者と青空に映える紅葉の森を歩きました。今回のテーマは**紅葉の森で保全を考える**です。

森を歩くとビニールテープでぐるぐる巻きにされたヒノキ、防獣ネットで囲われた森、また沢が土囊だらけなど人工物が目立ちます。参加者はこの景色を見て、最初は自然を楽しむには少し目障りな印象を持たれたようです。しかし、何故このような防獣対策が必要かを説明すると獣害の深刻さを理解し、保全作業の大変さに共感を示されるようになりました。

自身も山岳ガイドをしているという参加者の方は、いわゆる山岳ガイドのツアーとは一味違ってとても興味深かった。皆さんガッツリ保全活動をされている様子がよくわかったし、楽しみながら活動している感じも伝わった、と感想を述べられました。また自分がガイドをする山々が年々獣害で荒れていくのを心配しているが、山歩きを楽しむ人の多くが見通しが良くて歩きやすいと喜び、獣害に関心なので何とかできないかと考えているとも述べられました。

その他の活動など

この1ヶ月は秋の行楽シーズンを迎え、たくさんの行楽客が入山されたのはもちろん、保全活動でもたくさんの方の協力を頂きました。



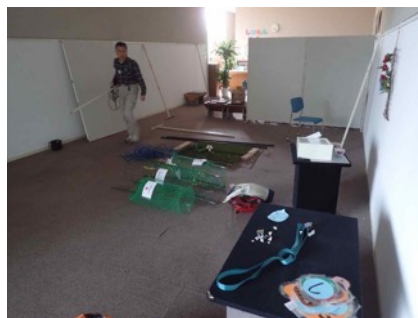
防獣ネットで囲われたブナの紅葉の前で参加者と
photo by Nakano



沢の堰堤補修作業 10月後半



金網撤収 10月後半から11月前半



琵琶湖博物館の展示撤収 10/31



西浅井中2年ササユリ播種作業 11/7



山門老人会草刈り作業 11/7



長浜市・市民活躍課視察 11/9
photo by Fujimoto H